自分自身のことばを見つめ直す

―― 履修生へインタビュー

～「自分自身のことばを見つめ直す」コースを履修したのはなぜですか？～

ーーー自分の話す方言や、ことばの持つ力に興味があったからです。

私は昨年からリカレント教育プログラムの履修生として、甲南大学で学んでいます。
昨年は別のコースを履修していましたが、パンフレットを読んだり、各コースの先生方から聞いたお話を参考にして、「自分自身のことばを見つめ直す」コースを履修しようと思いました。
数あるコースの中から「自分自身のことばを見つめ直す」コースを履修した理由の一つは、
自分の話す方言に興味があったからです。
私は神戸生まれ神戸育ち。社会人になり大阪の会社へ就職するまでは、
自分の話す方言を意識したことはありませんでした。
ある日、勤め先の人と何気ない会話をしていると、「神戸ならではのことばやね」と、
自分の話すことばを指摘され、初めて方言を意識しました。
私は語尾に“～しとう”とつける、いわゆる神戸弁を話していたんです。
指摘されるまで、“～しとう”は関西弁だと思っていましたが、関西の中でも
神戸を中心に話される方言だと知り、衝撃を受けたのを覚えています。
この出来事を機に、自分の話す方言やことばについて興味を持つようになったため、
「自分自身のことばを見つめ直す」コースに惹かれたのだと思います。
また、ことばが持つ力を正しく理解したいという想いも、「自分自身のことばを見つめ直す」コースを
履修しようと思った理由の一つです。
SNSやYouTubeの普及により、気軽に人と繋がることができる時代になりました。

だからこそ、ことばを軽はずみに発するのではなく、人が聞いたらどう感じるか、
よく考える必要があります。しかし残念なことに、SNSやYouTubeを通して使われることばの中には、
人を傷つける表現が含まれているのも事実です。
ことばは人を和ませることも、傷つけることもできる力を持っています。
ことばが持つ力を理解し、正しく使うことができるように、「自分自身のことばを見つめ直す」コースで
学びたいと思いました。

～なぜ、リカレント教育プログラムをリピートしようと思ったのですか？～

ーーー多角的に物事を捉える力を養いたいと思ったからです。

昨年履修したコースも、「自分自身のことばを見つめ直す」コースと同様に、
履修生同士、和気あいあいとして楽しかったです。
「このまま同じコースを履修するのも良いな」と考えましたが、一つの視点だけでなく、
多角的に物事を捉える力を養いたいという想いから、今年は違うコースを履修しました。
またご縁があって、昨年お世話になったコースを履修する機会があれば、
「自分自身のことばを見つめ直す」コースで学んだことを活かし、
様々な角度から課題にアプローチして、勉学に励みたいと思います。

～都染先生はどんな先生ですか？～

ーーー知識が豊富で学問に熱心な先生です。

私たち履修生が授業で発表をした際は、熱心に耳を傾け、正すべきところがあれば、
その場で的確なアドバイスをして下さいます。

また、課題でレポートを提出した際は、添削をするだけでなく、題材への共感や
次のステップへ進む助言をいただきました。
私たち履修生の大学での学び直しに寄り添い、勉強で行き詰った時は必ず導いて下さる、頼もしい先生です。

～「自分自身のことばを見つめ直す」コースを履修して、変わったことはありますか？～

ーーーことばの意味を一つひとつ、よく考えるようになりました。

「自分自身のことばを見つめ直す」コースを履修する上で、
授業でことばについて考えるのはもちろんですが、日常会話でも、「相手が聞いたらどう受け取るか」
「自分の伝えたいことが正しく伝わるか」などを、考えるようになりました。
ことばの持つ力を理解しようと、勉強を続けてきた成果の現れかもしれません。
この調子で、ことばについて考えることを習慣づけていきたいです。
また、これはリカレント教育プログラム全体に言えることですが、履修生のみなさんの学習意欲に感化され、
「私も頑張ろう！」と、勉強に積極的に取り組むようになりました。
パソコンルームや図書館などの大学施設を利用している方も多く、みなさん熱心に勉学に励まれています。
学生時代の私は、休講になると喜ぶような生徒でした。
でも今は違います。休講になるとがっかりします。
そう思える程に、甲南大学の履修生として学べる日々は楽しいです。

～履修を悩まれている方へ、先輩履修生からのメッセージをお願いします。～

ーーー大学での学び直しに、ぜひ挑戦してみて下さい。

私は甲南大学の卒業生ではありません。
昨年は大学での学び直しも初めてのことだったため、緊張や不安がありました。

しかし履修してみると、地方の学校に通われていた方も多かったです。
様々なバックグラウンドを持った履修生のみなさんと一緒に学んでいくうちに、
自分自身がリカレント教育プログラムの履修生として、甲南大学に馴染めてきた気がします。

履修を悩んでいる今は、緊張や不安があると思います。でも、きっと大丈夫です。
リカレント教育プログラムには、年を重ねたからこそ実感できる、学ぶことへの喜びがたくさんありますよ。
大学での学び直しの一歩を踏み出してみてください！